

いつもお世話になります。9月21日は宮沢賢治の命日です。37歳の若さで亡くなった賢治は、短命だった人生を悟っていたかのように、「誰が誰よりどうだとか、誰の仕事がどうしたとか、そんなことを言っているひまがあるか？」と問いかけました。そんなひまはありません。自分がやるべきことに精進するのみですね。

今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：デノミネーション】

デノミと略され、通貨単位の呼称を一定割合引き下げて新しい通貨単位に改める意味として使われる。英語のdenominationは「通貨単位」自体を意味するので、これは日本独自の使い方といえる。たとえば、日本円をデノミによって100分の1に切り下げると現在の100円が新1円となり、国内のすべての資産と負債に対して影響を及ぼす。急激なインフレで通貨単位が大きくなり過ぎ、経済活動に支障をきたすのを避けるために行う。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【「相殺」をした場合の領収書に印紙は必要?】

「取引業者との間に、売掛金が20万円と買掛金が18万円ありました。そこで代金を相殺して、差額の2万円を現金で受け取りました。



領収書には20万円と記載し、但し書きのところで“18万円については売掛金と買掛金を相殺”と書きました。このような領収書についての印紙は、どのように取り扱ったらいいのでしょうか?」というご質問を、ある経営者からいただきました。

金銭または有価証券の「受取書」や「領収書」には印紙税が課税されます。しかし、相殺による売掛債権の消滅を証明するものにおいては、印紙税は課税されません。また、相殺される金額を含めて記載しているものについては、「相殺される金額」を明確にすれば、相殺分は記載金額には含まれません。そのため今回のご質問では、「相殺される金額」、つまり相殺した18万円は記載金額には含まれません。よって、領収書には20万円と記載されていますが、そのうちの現金で受け取った2万円が印紙税の対象となります。なお今回の場合の印紙税は、記載金額が3万円未満については非課税ですから印紙は不要となります。ただし、たとえ相殺の事実を証明するために作成された領収書であっても、その事実が文書上明らかにされていないときには、印紙税が課税されますので注意が必要です。

今を生きる 先人の言葉

みんなが駄目
だと云うから
成功する

日本マクドナルドの創業者である藤田田の言葉。経営には一貫した哲学が必要である。自分がこうだと思ったら、誰が何と言おうとそれを堅持していくべきである。

トレンドを斬る!

レンタルDVDのツタヤが展開する『蔦屋書店』が、静かにファンを増やしています。代官山駅から約5分の洒落た施設には、

人文学や雑誌、アートや建築など各分野に精通したコンシェルジュが吟味した書籍の他、映像や音楽も圧倒的な品揃えで並びます。ハイセンスなラウンジでは珈琲を飲みながら購入前の本を読むことができます。少子化に向け50歳以上の成熟層をターゲットとした上質な時間の演出を、あえて派手な宣伝を控えて成功させた戦略にも感心させられます。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

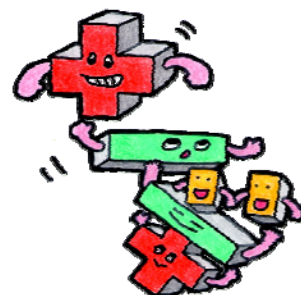
今月の商売のヒント：【周りを楽しませ自分も楽しむ!】

「辛」(つらい)に「一」(いち)を足すと「幸」という字になります。辛くても、あと一步、もう一步と前に進もうという気持ちが幸せを呼び込みます。漢字にはもともとの成り立ちや由来がありますが、このように「因数分解」して解釈するとまた違ったメッセージが見えてきます。

コピーライターのひすいこうたろうさんにとって「漢字は感字」だそうで、著書『漢字幸せ読本』ではユニークな視点から独自に解析した漢字の意味を紹介しています。たとえば、「大丈夫」の3文字にはすべて「人」という字が入っています。

あなたに何かあったとき、周りの人はあなたを支えてくれます。どんなときにもあなたには3人の味方がいるのです。または、「幸」を縦に読むと「+-=-+」

(プラス・マイナス・イコール・マイナス・プラス)。物事はすべてプラス・マイナスの中立で、あとはその人がどう見るかだけ。それが「幸せ」の本質です。なかなかうまいことを言うと思いませんか。



さて、「働く」ということを漢字の因数分解で考えてみましょう。

「人」が「動く」と書いて「働」。しかし、やみくもに動けばいいわけではありません。「働く」=「はたらく」=「端」(はた)が「楽」(らく)。つまり、端が楽になるような動きをしたときに「働いた」と言えるようです。

さらには「端」が「楽」しくなるように動いたら、自分も同じように楽しくなります。今の自分の行動は周囲の手助けになっているだろうか。今やっていることで周りが楽しくなるだろうか。このように、常に「端」が「楽」の発想を持って動いていたら、きっと商売は上向いていくことでしょう。「人間というものは、気分が大事です。気分が悪くっていると、立派な知恵才覚を持っている人でも、それを十分に生かせません。しかし気分が非常にいいと、今まで気づかなかったことも考えつき、だんだん活動が増してきます」。これは松下幸之助さんの言葉です。

「周りを楽しませ自分も楽しむ」、いついかなるときでもそんな好循環の商売をしていきたいですね。

MC S 税理法人立川事務所

〒190-0023

立川市柴崎町3-11-4 千代田生命立川ビル4階

電話：042-595-7671 FAX：042-528-6949

<http://www.mcs-office.jp>

mail: info@mcs-office.jp



MC S 税理士法人立川事務所所長の税理士舛田です。様々なご相談に親身になってお答えいたしますのでお気軽にお問い合わせください。お問い合わせは無料です。